

令和元年度 国語科授業の略案 (2学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
5月15日(水) 2校時	じゅんじよに気をつけて読もう	たんぼぼのちえ
本時のねらい(7/10時間目) ○時間の順序や理由を表す言葉に着目し、天気による綿毛の様子の違いとそのわけを読み取ることができる。		
評価規準 読 時間の順序や理由を表す言葉をもとに、天気による綿毛の様子の違いと、そのわけを読み取っている。(発言・ノート)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 9:20	○前の授業のまとめ、ふり返りを隣の人と伝え合ひましょう。 ・たんぼぼの種を遠くへ飛ばす知恵を話し合ひました。 ・風がよく当たるようにじくを起き上がらせると分かりました。 ○文章の⑧、⑨段落を音読しましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 課題把握 ・シラバス ・言語わざ ・見通し 自力解決 9:30 集団解決 ・班学習 9:35 ・全体学習 9:43 ・考察 9:53 まとめ 9:58	1 単元計画をもとに、本時の課題を把握する。 たんぼぼの知えとそのわけをはなしあい、読みとろう。 自力(5分)・班(8分)・全体(15分)・まとめ(2分)・振り返り(5分) 「キーワードをつかってせつめいしよう」 ○⑧、⑨段落の順序を表す言葉はなんでしょう。 ・よく晴れて風のある日 ・しめり気の多い日や雨ふりの日 ○よく晴れて風のある日、しめり気の多い日や雨ふりの日の「たんぼぼの知え」を、文章の中から見つけましょう。 2 自力解決をする。 ○どんな知恵か見つけて教科書に線を引き、ノートに書きましょう。 ○なんのための知恵なのか、わけも合わせて書きましょう。 3 自分の考えを班で伝え合う。 ○班で話し合ひましょう。 ○班で話し合った意見を出し合ひましょう。 ・よく晴れて風のある日に、落下傘を開く知恵があります。そうした方がふわふわと飛んでいきやすくなるからです。 ・雨の日に落下傘をすぼめるのも、たんぼぼの知恵です。雨の日にはわた毛はあまり飛ばないと思うからです。 ・まとめて、天気によって開いたりすぼんだりする知恵だと思います。わた毛や種を遠くまで飛ばすための知恵だと思います ・雨だと遠くまで飛ばないので、最初から落下傘をすぼめて、晴れるまで飛ばさないようにする。 ○種を遠くまで飛ばすのは、どうしてでしょう。 ・最後の段落に書いてあるように、新しい仲間を増やすためです。 たねをとおくまで飛ばして新しい仲間を増やしていくために、天気によってわた毛をひらいたりすぼめたりする知恵があります。	キーワード たんぼぼ、ちえ、天気、らっかさん、わた毛、ひらきかた、たね、とおく、とばす ・グーパーチェックをして、活動の見通しを十分に立てられているか確認する。 ・机間指導の際、文章に基づいた説明になっているか、確認する。 ・⑧段落、⑨段落それぞれの知恵が書いている児童には、両方の段落を比べて分かることも書くよう促す。 ・班学習の際には、ノートを見せながら説明するよう指示を出す。 ・最後の段落と関連付けて読むことで、たんぼぼがどんな知恵を働かせているかに加え、その知恵を働かせる目的が、「新しい仲間を増やすため」であることに、児童が気付けるようにする。 読 時間の順序や理由を表す言葉をもとに、天気による綿毛の様子の違いと、そのわけを読み取っている。(発言・ノート)
【終末】 ふりかえり 10:00	4 本時の振り返りをする。 ・○○さんのせつめいが、詳しくて上手でした。 ・たんぼぼは賢いなと思いました。 ・班学習で、キーワードを使って話し合うことができました。	・キーワードを使って説明できたか、という振り返りを入れるようにする。